

ご自由に!

西ノ島 物井・倉ノ谷・宇賀

ものい くらのたに

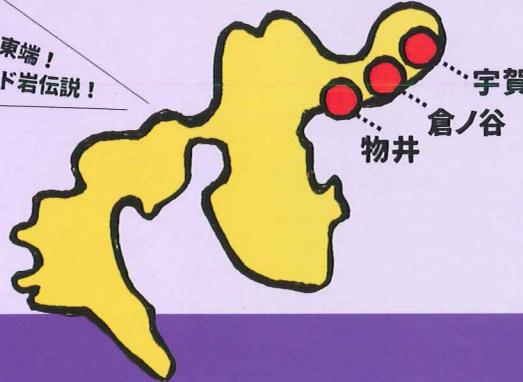
まちあるきマップ



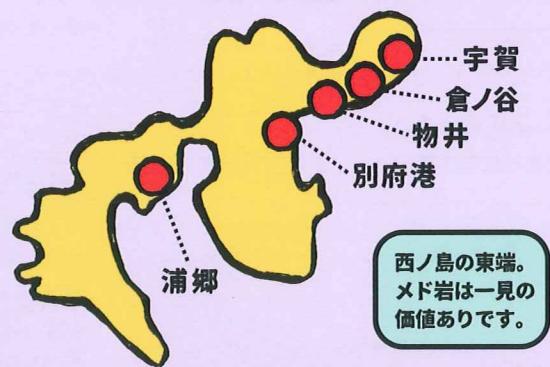
地図



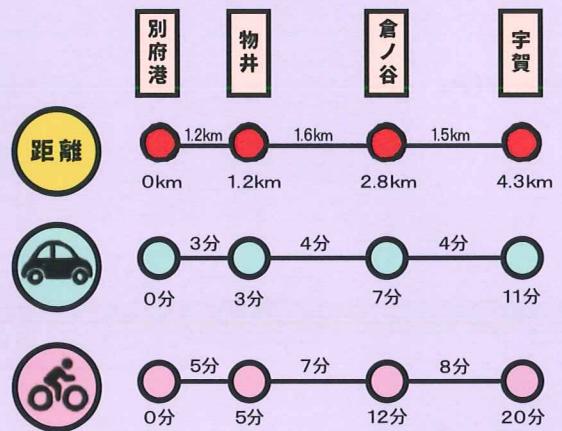
西ノ島の東端!
メド岩伝説!



物井・倉ノ谷・宇賀への道のり



西ノ島の東端。
メド岩は一見の
価値あります。



- 交通関係**
- 町営バス 08514-6-0014
 - くにがレンタカー 08514-7-8088
 - 原交通 08514-6-0056
 - 隠岐観光 08514-6-0016
 - どうまえレンタカー 08514-6-1768
 - 鏡谷タクシー 08514-7-8321
- 観光案内**
- 西ノ島町観光協会 08514-7-8888
※レンタサイクルあります。

物井・倉ノ谷・宇賀

文化まめちしき

比奈麻治比売命神社

ほつかい
延暦年間、渤海国の使者であった内蔵宿
称賀茂麻呂（クラノスケネ・カモマロ）
が帰路海上で遭難し
不思議な明かりをた
よりにして隠岐西ノ島に上陸することができ
ました。その不
思議な明かりの正体は、比奈麻治比売命が遭難した船を導
く御神火でした。これに感激した賀茂麻呂の奏上によって、
比奈麻治比売命神社は隠岐国最初の官社となったといわれ
ています。また賀茂麻呂が上陸後辿り着いた集落は、内蔵
宿（くらのすくね）の蔵をとて「蔵の谷」（現：倉ノ谷）
と呼ばれるようになったと伝えられています。



馬道岩と亀岩

名馬「池月」伝説



めど
馬道岩



亀岩

馬道（メド）岩に空く穴は、
宇治川合戦の名馬「池月」が
倉ノ谷と宇賀の間にあった大
岩の絶壁を蹴り飛ばしたこと
でできたという伝承が残されて
います。そのため人々はこの穴を「馬道」メドと名づけ
ました。穴から抜け落ちた円
い岩は、近くの海辺に亀のよ
うな形で残っています。村人
はこれに「亀が島」あるいは
「亀島」という名前をつけま
した。「池月」は佐々木高綱
が源頼朝から賜った名馬で、
宇治川の先陣争いで活躍
で知られています。



西ノ島町役場 地域振興課 TEL:08514-7-8777

企画・編集 地域おこし協力隊 2015.12

参考文献：西ノ島の今昔、運河のある町

西ノ島町観光協会資料

隠岐島の伝説



西ノ島 まちあるきマップ

物井・倉ノ谷・宇賀

明治37年の町村制施行前、この3集落は「宇賀村」の1村落で、釣りのメッカとして全国的に有名な地です。宇賀まで続く海岸沿いの道は自転車、バイクで走行すれば気持ち良いこと間違いなし！

昔は島の北東端「済」という地にあったことから「済の宮」「済大明神」とも呼ばれていました。参拝の不便から安政2年(1855年)に社地を移転しましたが、その後多くの災厄が起つたため元に戻したといわれています。その後も移転が繰り返され、昭和3年に現在の地に移転されました。

車はこちらの道へ。

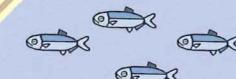
和光苑
(老人ホーム)

バス停
(倉ノ谷)

事代主大神
(えびす様)の石碑

広く整備された道

海岸の狭い道



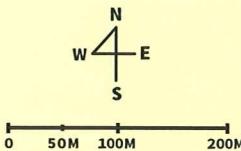
自転車・バイクはこちらの道がおススメ!!
*落石注意

倉ノ谷

物井と宇賀の中間。海士町の海士港と対峙し、内航船の往来を見ることができます。



海士⇒西ノ島のフェリーどうせんかが運航する姿が見えます!



地図

宇賀

西ノ島の最東端。北東の海上には海士町の三郎岩を眺めることができます。



馬道(メド)岩がある場所は、正面に海士町、北東には三郎岩を眺めることができるスポットです！朝日も拝むことができる風光明媚な地!!

真氣命(まけみこと)神社

物井地区の氏神として崇拝されている神社。創立は不詳。通称、素気雄(すざお)さん。素気雄は社地の地名です。

物井

海岸沿いに帯状に人家が連なる物井地区は、かなり古くから開けていたと考えられています。

広い家庭菜園!

住宅

畑

大日院

お墓

別府方面

小高い丘の上にあるお堂です。
浄土真宗。

住宅地の細道を少し上がったところにあるお寺さんです。浄土真宗。寺院は昭和29年に建立されたものです。

誓願寺

お墓

別府方面

海と島を眺めながら自転車orバイクは最高!

お社

バス停(物井)

灯

散歩に適したキレイな防波堤!